

〈報道関係者各位〉

プレスリリース

2021年11月18日

Workato Japan

Workato、日本での事業拡大へ向け日本法人を設立

～1000 超の SaaS やサービスを API で連携、エンド to エンドの次世代オートメーションで DX を加速～

米国のエンタープライズオートメーション市場を牽引する旗手として成長を遂げている企業 Workato, Inc. (本社：米国カリフォルニア州、以下 Workato) は、業務自動化による日本の DX の加速と、さらなる事業拡大に向け、日本法人を設立いたしました。

Workato は、2013 年に米シリコンバレーにて設立し、Gartner 社による Enterprise iPaaS 市場における Magic Quadrant では、初登場以来 4 年連続リーダーに選出されている他、本年の Forbes 誌による Cloud 100 にも選出されたユニコーン企業です。日本市場においては、2018 年より大手企業を含むお客様にご利用頂いておりましたが、この度、日本における次世代の自動化をさらに推進すべく、カントリーマネージャーに中川 誠一を迎え日本法人を設立する運びとなりました。

日本法人の設立に当たり、これより 3 年間で 1 億ドル (約 113 億円) を以下の内容を中心に投資し、日本事業の拡大に尽力して参ります。

- 日本にデータセンターを開設 (2022 年秋予定)
- データセンターにおける ISMAP 認証の取得
- Workato(製品) UI と技術ドキュメント、および Web サイトの日本語化 (2022 年夏予定)
- 業務自動化、iPaaS のマーケット拡大のためのマーケティング活動
- 強力なパートナーエコシステムの構築
- 専任のローカライゼーションチーム及びデータセンターチームを設置
- お客様の成功のため、日本をサポートする社員を 100 名採用
- ビジネス牽引のための強力なリーダーシップメンバーの採用

DX 化が求められる昨今、アジャイル・スピード重視の思考で、全社レベルでのスケール可能な業務の自動化を、スピーディかつ低コストで実現することが重要です。Workato は、組織内外横断で業務を自動化する次世代のプラットフォームです。今や 1 企業内での採用が 1000 を超えるとも言われる SaaS やアプリ、サービス間のデータ連携を、クラウド/オンプレミス環境を問わずノンコーディングで実装し、スピーディかつ俊敏に効率化し、業務ワークフローの最適化を図ることが可能です。今日、API を通じて、世界中で地理的な制約を受けず様々なサービスやアプリケーションのデータを、誰もが利用できるようになりました。その上で Workato は、課題となるセキュリティとガバナンスを担保することで、API によるエコシステムのメリットを享受しつつ、エンタープライズにおいて自社に適した業務自動化を短期間でセキュアに構築することが可能です。

Workato 設立者 兼 最高経営責任者である Vijay Tella (ヴィジェイ・テラ) は、日本法人設立について次のように述べています。

「日本は、これまで、ファクトリーオートメーションの分野において、品質、スピード、信頼性を重視し、



先駆的な役割を担ってきました。エンタープライズ・ソフトウェアの世界において、これらが基準となっていると言っても過言では無いほど、日本は自動化技術の導入において主要な市場の一つとなっています。これまで Workato が日本のお客様やパートナー様と歩んできた中で、モダンかつエンドツーエンドの自動化に対する市場のニーズの大きさを実感してきました。今回、日本での投資とパートナーシップを拡大することで、IT チームとビジネスチームが共に使用できる Workato のエンタープライズ・オートメーション・プラットフォームを更に多くの人に知って頂く機会を得られたことを嬉しく思います」

また、Workato 日本法人のカントリーマネージャーである中川 誠一は、日本法人設立について次のように述べています。

「パンデミックを経て、日本企業の SaaS 採用が加速しています。一方で、企業につき 1000 を超えると言われる SaaS やサービス間のデータを連携させるため、これまでにない手作業が発生しているのも事実です。この問題を解消するためには、業務全体を最適化し、さらには API を活用した業務の自動化が必須だと考えています。各企業のニーズに合わせ拡張できるクラウドネイティブな環境、ビジネスユーザーにも扱いやすいシンプルなローコード/ノーコードの開発環境、さらには Bot などインテグレーションと自動化において必須の機能、これらを統合したプラットフォームが Workato です。既に Workato をご活用いただいている様々なエンタープライズのお客様を始めとし、日本の DX の推進において、なくてはならない存在になると確信しています。」

■お客様からのコメント

「この度は Workato 日本法人設立誠におめでとうございます。LIXIL では「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に向けイノベーションによる長期的な成長機会の確立に取り組んでいます。特にデジタル技術を積極的に活用するために、デジタルツールをシンプル化させ、全従業員が活用できる“デジタルの民主化”の基盤を構築することは、とても重要な課題です。そうした中、Workato の活用によるローコード・ノーコード開発は、開発工数を大きく短縮する方法であり、当社としても非常に注目しています。今後益々デジタル変革の需要が高まる日本において、貴社現地法人が設立されることは、当社だけではなく、日本全体の更なる DX 推進が加速するものと期待しています。」

株式会社 LIXIL

執行役専務 マーケティング・デジタル・IT 担当 兼 Chief Digital Officer 金澤 祐悟

「日本オフィス開設を心より歓迎いたします。NEC ネットズエスアイは、2018 年 10 月から働き方改革を牽引するサービスとして Workato を全社導入し、マルチクラウドの考え方をベースとした徹底的な業務プロセスの自動化を実践してきました。社内実践で培ったノウハウを元にしたサービス提供はお客様からも大変好評を頂いており、今後貴社との協業をより強固にすることで、ローカライズされた Workato サービス提供に寄与していきたいと考えています。Workato 社の益々の発展をご祈念すると共に、日本市場、グローバル市場でのさらなる拡大に貢献致します。」

NEC ネットズエスアイ株式会社

代表取締役社長 牛島 祐之

■Workato とは

Workato は、エンタープライズオートメーションプラットフォームのリーダーです。



クラウド/オンプレミスを問わず、データベース、アプリケーション、各種サービスを API をベースに連携（インテグレーション）させ、社内外の組織を横断した業務プロセスやワークフローの自動化を、容易かつ素早く、アジャイルで行うことで、従来比 10 倍の生産性を実現しています。

また、100%クラウドネイティブなプラットフォームで、ノーコード化やマシンラーニングを適用した特許取得済みの自動化インプリ手法により、非エンジニアでも容易に自動化が行え、ガバナンスとセキュリティの機能も標準装備されているため、大規模エンタープライズに適した自動化を、従来比 1/3 の TCO で実現可能です。

Gartner 社の Enterprise iPaaS 市場における Magic Quadrant では、初登場以来 4 年連続リーダーに選出されています。日本では、LIXIL、DeNA、横河電機など様々な企業で利用されています。

Website : workato.com/japan

*iPaaS とは、Integration Platform as a Service の略で、API インテグレーションにより、複数の SaaS、ソフト、サービス間を連携させるためのプラットフォームです。